

## 公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス いまここplus							
			はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15	2				安全で広々とした環境の維持に努め、引き続き年1回以上の参観日を計画していく。また、個別モニタリング面談等で来所された際には、ご希望に応じて活動エリアをご案内し、お子さまの活動環境へのご理解を深めていただけるよう努めていく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	2				職員の配置につきましては、国が定める人員配置基準を厳守している。活動内容や参加状況に応じて職員のシフトを柔軟に調整し、安全かつ充実した支援体制を確保しています。感染症などの理由で出勤職員が不安定になる状況においても、状況に応じた適切な対応を継続的に実施していく。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1		3	絵などの視覚支援があつてもいいと思う	今後は、活動や日常の流れがより分かりやすくなるよう、絵や写真などの視覚支援の活用について検討し、児童たちが安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	4				定期的な清掃と備品(おもちゃ、ぬいぐるみ等)の洗浄・消毒・整理整頓を徹底し、清潔で心地よく過ごせる衛生的な環境を保持している。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	2		2	先生の専門性がどの程度なのかはわからない、知識に差があると感じる。	朝礼・夕礼で児童に関する詳細な情報共有と、毎月のケース会議における専門的な協議を徹底し、特性に応じたニーズを深く理解し、計画的かつ一貫性のあるチーム支援を目指している。また、事例検討や支援、制度についての研修を受講している。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	1				支援プログラムは、公式lineやホームページで公表しており、日々の活動は支援プログラムに沿って考案・実施している。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	16	1				子どもの日々の様子や特性、保護者様から伺ったニーズ・困りごとを基に、職員間で支援会議を行い、共有理解を持って個別支援計画を作成しています。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1		2		ガイドラインで示されている『本人支援』『家族支援』『移行支援』の視点から必要な項目を選定し、そのうえで支援内容を具体的に記載することを職員間で徹底している。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	1		1		個別支援計画の内容は全職員で共有し、支援前に確認した上で、計画に沿った統一した支援を行っている。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	2			多くの場所へ連れてっていただることや、室内でもたくさんの料理体験などをして飽きさせない内容であるところが素晴らしいと思う。	毎月のレク会議で活動内容を必ず見直し、新しいプログラムを継続的に導入しており、活動が固定化することが生じないよう徹底している。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	4	4	4		地域の学童や児童館との交流は行っていないが、同系列の放課後等デイサービス事業所との交流活動や、地域のイベント・事業所外での活動の機会を設けることで、子どもに必要な交流の機会は確保している。

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16			1		契約時には必ず保護者の方に分かりやすく丁寧に説明しており、不明点についても随時対応している。また、支援プログラムについては公式lineやホームページに掲載している。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	2		2		各児童の計画書は、お渡しする際に保護者の方に支援内容や目標について説明している。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	3	2	7		性教育やお金の学習などの外部研修の情報をInstagramやline voomを活用し、情報提供を行なった。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15	1		1		送迎時の対面でのやり取りに加え、連絡帳アプリやLINEを活用し、日々の様子や気になる点を丁寧に共有することを心掛けている。継続的な情報交換を通して、保護者の方々とお子さまの健康や発達の状況について共通理解を深められるよう努めている。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	2	1	1		日頃の間わりから見える児童の様子を踏まえ、保護者の方から子育てに関するご相談があつた際には丁寧に対応している。また、事業所で効果的であった声掛けや支援方法については、面談時や送迎時などを通じて保護者の方と共有するよう努めている。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14		1	2	先生からの熱意は感じられない。一部の先生が、暴言を吐いたりきつく子供を叱っていて、中には通いたがらないお子さんがいると何度も耳にしたことがある。 送迎者の中で女性の先生が子供にキツい言い方をして注意しているのも実際に目についた。 我が子にもそのような対応をされているのかと疑ってしまう。	このたびは、職員の間わり方について貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。ご指摘の内容につきましては、事業所として重く受け止めております。こどもたちが安心して通うべき場であるにもかかわらず、職員の言葉遣いや注意の仕方により、不安を感じさせてしまう可能性があることは、決してあってはならないことです。今回のご意見を受け、改めて職員全員で間わり方を見直し、言葉遣いや叱り方についての指導・共有を行ってまいります。今後も、児童一人ひとりの気持ちに寄り添い、保護者の皆さまに安心してご利用いただける事業所運営に努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	3	3	8		保護者会については、現状では保護者の方々からのニーズが少ないので実施していない。しかし、今年度は夏祭りでの参観を通して保護者同士が顔を合わせられる機会を設けた。きょうだい同士の交流の場づくりにも取り組んだ。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	3		2		相談だけでなく、利用に関する希望や支援内容への要望などの申入れについても、送迎時やLINE等から随時受け付けており、内容に応じて迅速かつ個別に対応している。また、空き状況についてはSNSやLINEと連動して確認ができるようにしており、保護者の方が必要な情報を随時把握できる体制を整えている。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	2			アプリでのやりとりは丁寧で迅速だと思う。	LINEや連絡帳アプリを導入し、こどもや保護者との情報共有がスムーズに行えるよう配慮している。基本的な対応時間は10:00～19:00としているが、内容に応じて営業時間外でも可能な範囲で対応し、いつでも連絡がとりやすい環境づくりに努めている。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	1				ブログやInstagram、LINEを活用し、活動の様子や行事予定、連絡体制等の情報を定期的に発信している。自己評価の結果についても、Instagramおよびホームページに掲載し、保護者がいつでも確認できるようにしている。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	2			個人情報に関する書類は鍵付きラックに収納し、適切に管理している。また、SNS等に掲載する写真については十分に配慮し、保護者から掲載許可をいただいている児童のみを掲載している。さらに、個人情報保護に関する研修を全職員が受講し、取扱いを徹底している。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	4	2	防災訓練以外をされているのか問い合わせたい。 訓練を実施しているとは思いますが、利用時でないときに実施しているかもしれませんためわからないとしています	各種マニュアル(事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等)を策定し、ホームページやLINEを通じて保護者がいつでも確認できる体制を整えている。非常災害に備えた防災訓練は年2回実施しており、職員研修の中でも緊急時対応、送迎時の安全管理、感染症対策等を取り入れ、子どもの安全確保を最優先とした支援体制づくりに努めている。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	4	4	Q23と同じ	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	2	3		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされているだと思いますか。	14	2	1	怪我をさせられたことがないからわからないが、たくさんの外出機会がある中で、いつも無傷であることを大変素晴らしいと思う。	現在、重大な事故等の発生はないが、些細なことでも迅速に連絡し、状況を丁寧に説明することを常に意識している。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15	1	1	先生が怖いという噂は耳にする。 子供の名前を呼び捨てで呼ぶ先生がいてびっくりする。せめてちゃんとやくんをつけてほしい。	このたびは、貴重なご意見をいただきありがとうございます。 職員の言葉使いや関わり方により、不安な思いをおかけしましたことをお詫び申し上げます。名前の呼び方につきましては、親しみを意識した関わりであっても、受け取り方によっては不安を与えてしまう可能性があることを、職員一同改めて認識いたしました。今後は、原則として「さん」「くん」等の敬称を用いることを徹底し、言葉遣いや声かけについても職員間で再確認を行ってまいります。児童、保護者の皆様が安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	1	1	先生によく懐いている。	今後も、5領域や支援プログラムに沿った活動や児童が楽しめる環境づくりを検討していく。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1	1		